

道徳指導法 3

—道徳教育は必要ですか?—

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説
特別の教科 道徳編

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_011.pdf

道徳教育(道徳科)の必要性

-道徳性の発達という視点から-

『子どもの社会的な心の発達』 林 創 金子書房

道徳科

他者理解・自己理解

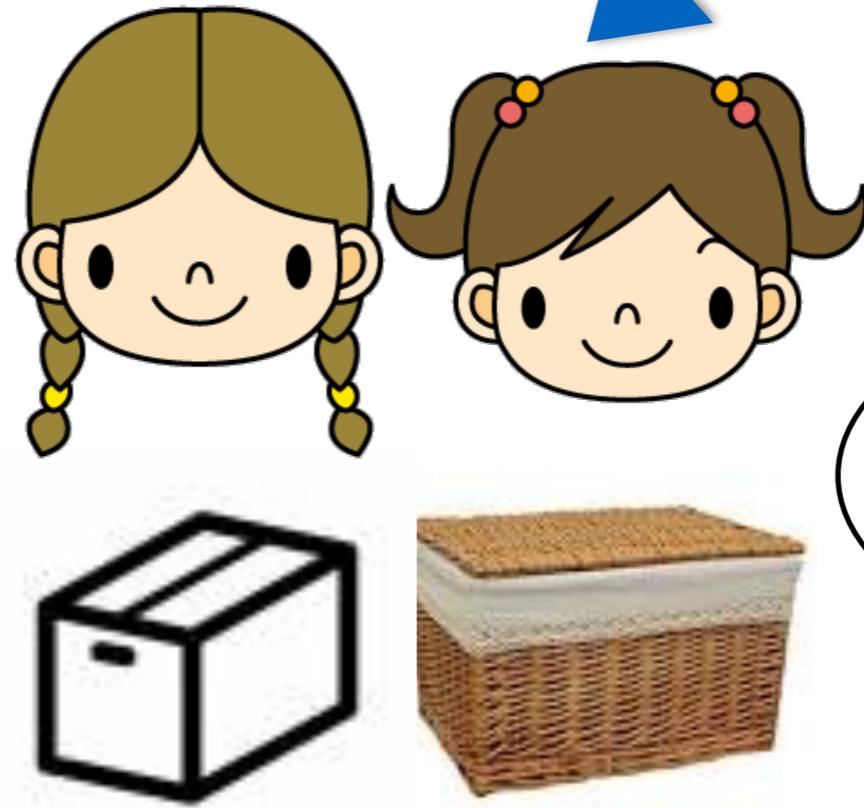
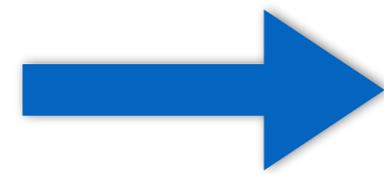
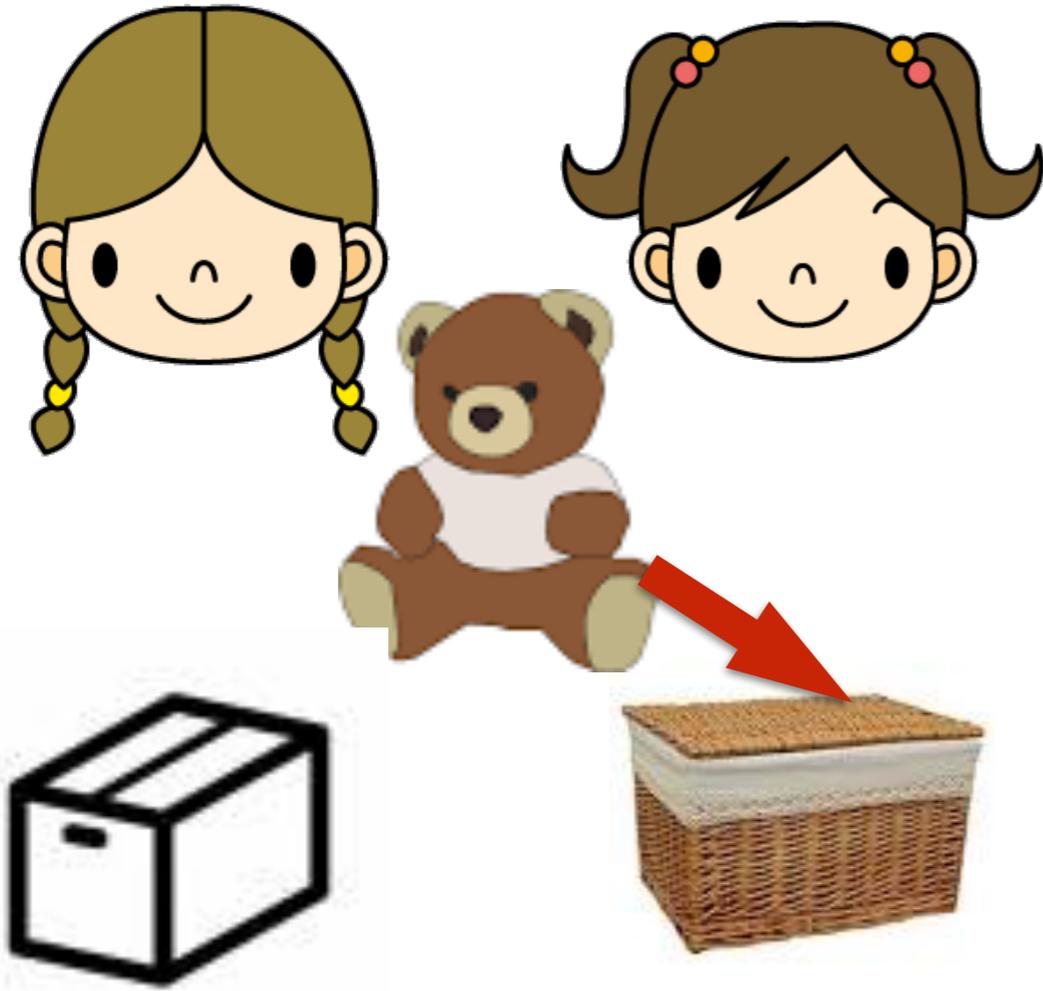
他者の心の理解



コミュニケーションの反復
成長

まり

ちか



「心の発達」
を調べる!

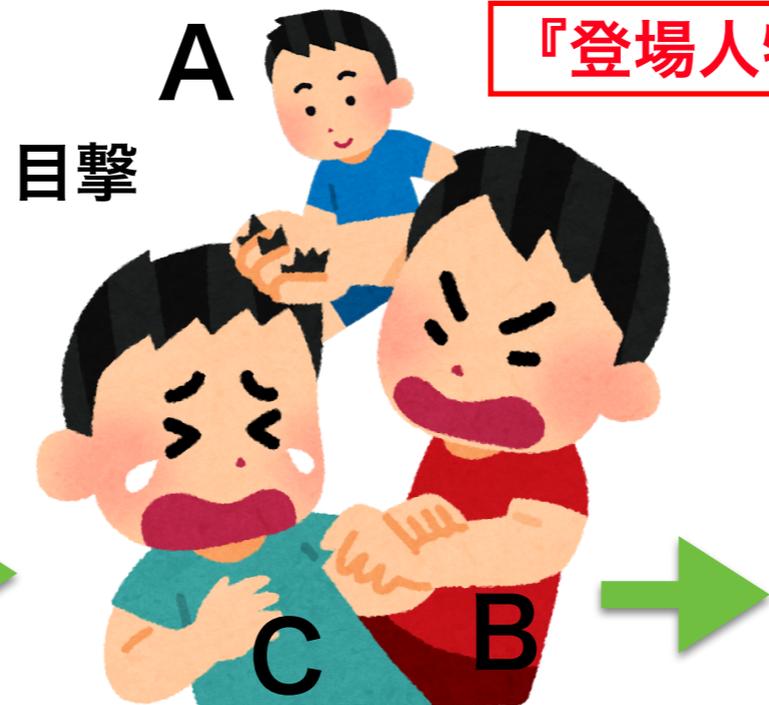
「助っ人課題」 3歳

間違ってしまいそうな
人に『箱にあるよ』
って教えてあげて!

『登場人物の社会的なかかわり』の実験

なかよくする

第1問



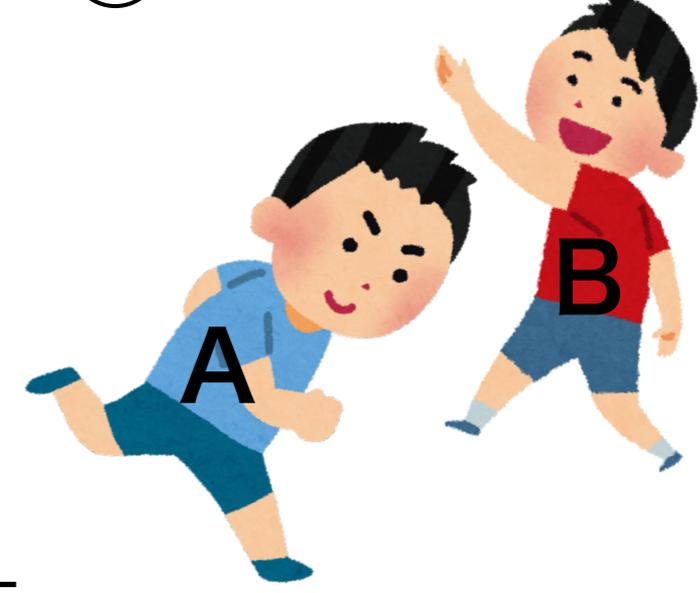
AはBが悪い子だと知ってしまい、そう思っている。

① なかよくする



なかよくしているのは、変だなあ

② 何もしない(無視)

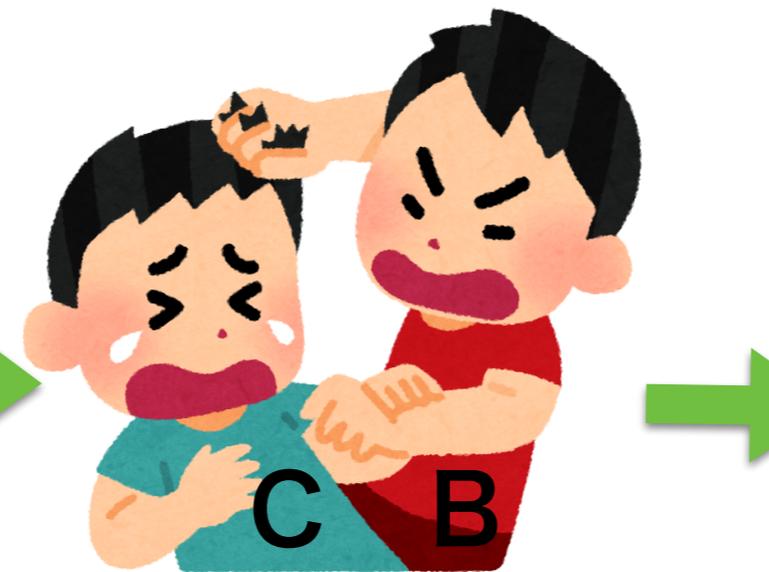


今まで通り

なかよくしないのは、変だなあ

なかよくする

第2問



AはBが悪い子だと思っていない。

13ヶ月児



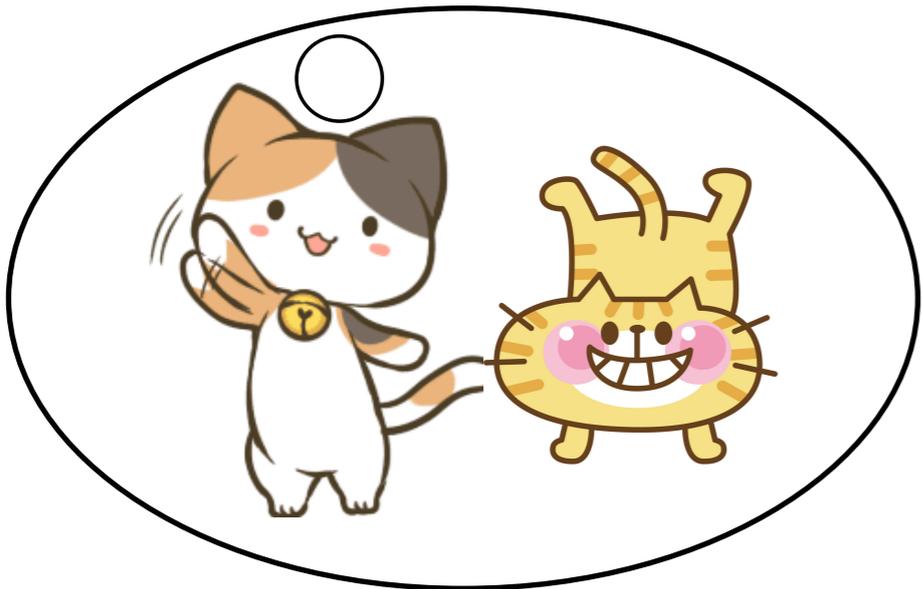
※実験はぬいぐるみでされました。

※変だな、不思議だなと感じたことをじっと見る(注視)。

『道徳的感受性』の実験

※実験はぬいぐるみでされました。

5ヶ月の赤ちゃん



援助(ポジティブ行動)



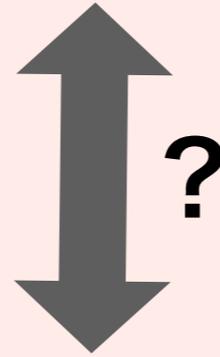
妨害(ネガティブ行動)



人は生後1年以内に、他者の第三者に対する好社会的/反社会的行為に対して評価ができる

○道徳性の発達という視点から道徳教育(道徳科)の必要性

関係性



○発達心理学

- ・ 生後1歳半頃、「援助」「同情」「公平」の萌芽が見られる。
- ・ **直感的に判断し**、「他者を助けたい」「他者に教えたい」と強く動機付けられている
- ・ 生まれながらにして、苦境にある他者に対して原初的な同情的態度をとる可能性

「心の発達」と「道徳的判断」

○道徳性の育成は必要か

- 人間は道徳的な感受性、或いはそのような処理をするメカニズムを生得的にもって生まれる。しかし、その後、何もない状態では、そのメカニズムは適切に発達しない。生後に受ける教育や文化の影響によって、さらに道徳的感受性、道徳性が開花していく。

○裁判、裁判員制度は、時間をかけて理性的な判断をすることが求められる。

- 人間は直感だけでなく、その後、理性的に考え、行動をコントロール(実行機能)できる。
- 理性的に考えることの大切さを指導することができる。
- 「道徳性(判断力)」は学習されるものである。

**みなさんには、ぜひ、道徳の授業に
子どもと共に取り組む先生になってほしい!**

○基本的な情報を知ってほしい。

○これまでの道徳教育の成果と課題

文部科学大臣

諮問



答申

p.2

中央教育審議会

平成27年3月 『特別の教科 道徳』

「考え、議論する道徳」

(=主体的対話的で深い学びへの転換)

課題1

充実した指導を重ね、確固たる成果を上げている学校がある一方で、

①歴史的経緯に影響され、いまだに道德教育そのものを忌避しがちな風潮があること、

②他教科等に比べて軽んじられていること、

③読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われる例があることなど、多くの課題が指摘されている。道德教育は、生徒の人格の基盤となる道德性を養う重要な役割があることに鑑みれば、これらの実態も真摯に受け止めつつ、その改善・充実に取り組んでいく必要がある。 (p.2)

課題2

今回道德教育の改善に関する議論の発端となった学校の状況、社会問題!!

(p.3)

道徳教育の変遷4 -平成29年告示学習指導要領-

「考え議論する道徳」(主体的対話的で深い学び)

① 「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」へ(教科化)

○補充・深化・統合 ○いじめの問題への対応

p.3

② 道徳教育と道徳科のかかわりと目標

p.8

p.13

③ 育みたい道徳性

p.17

④ 「特別の教科 道徳 (道徳科)」の授業のあり方

p.15

道徳教育と道徳科のかかわり、目標

●道徳教育→ 教育活動全体を通じて行うもの (p.8,9,10)

「特別の教科 道徳」(道徳科)を要として学校教育全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、・・・それぞれの特質に応じて・・・」

○道徳教育の目標(p.8)

「自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」

●「特別の教科 道徳」(道徳科)→ 各活動における道徳教育の要としてそれらを補ったり、深めたり、相互の関連を考えて発展させたり統合させたりする(補充・深化・統合)役割 (p.8)

○「特別の教科 道徳」(道徳科)の目標(p.13,15,16,17) (p.24,25)

「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度(p.17,18)を育てる。

道徳の授業

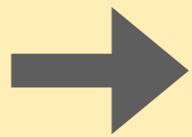
道徳教育の指導内容について

「補充」 「深化」 「統合」

p.8



道徳教育の要



特別の教科 道徳

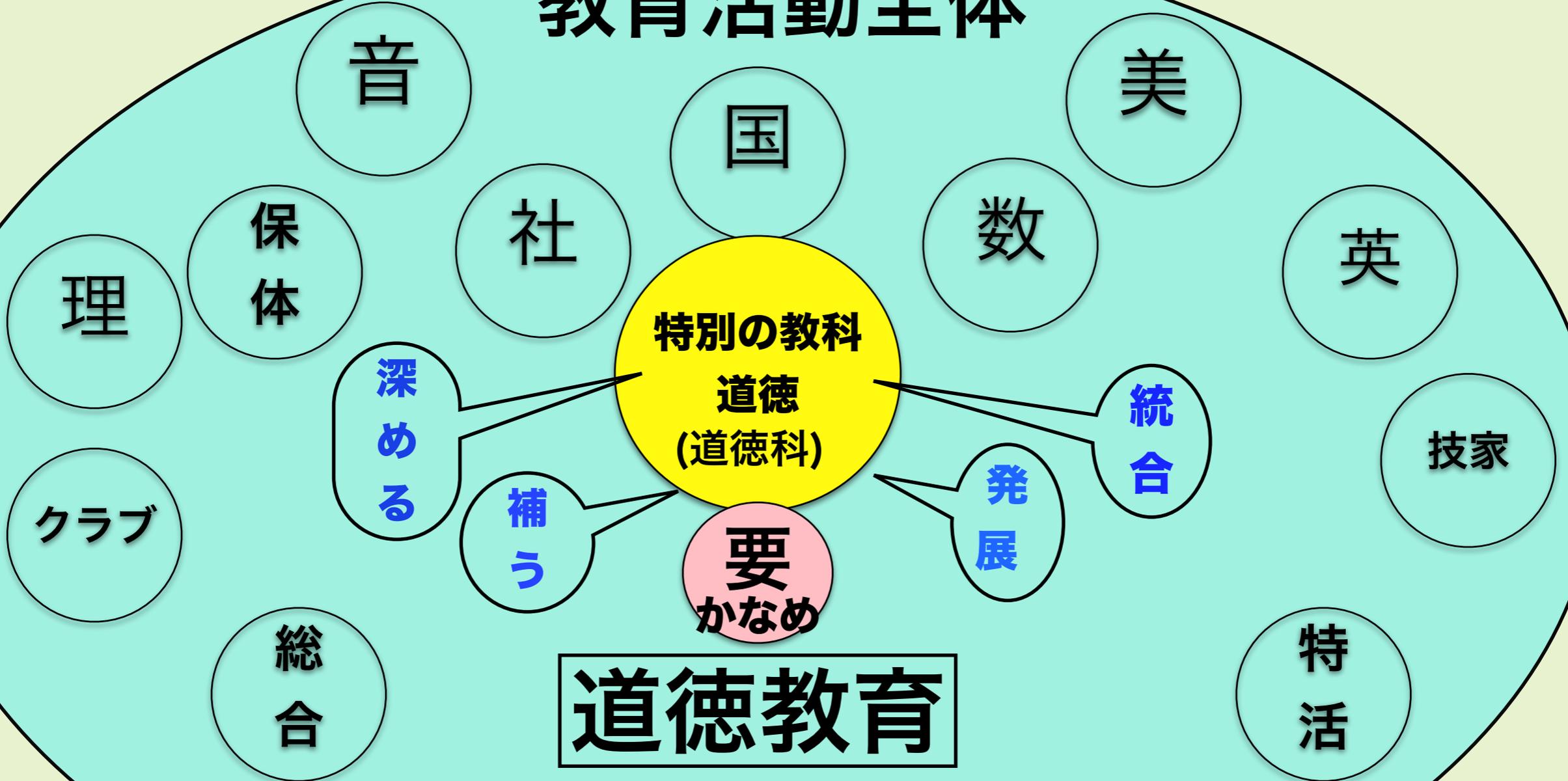
(かなめ)



「道徳教育」と「特別の教科 道徳(道徳科)」とのかかわり

学習指導要領解説 P.9(P.11)
「各教科等における道徳教育」

教育活動全体



よりよく生きるための基盤となる
道徳性の育成

授業の感想を送ってください!

○下記のメールアドレスまで

koyamahi41@gmail.com

○本文には

- 「学生番号・名前」
- 「授業の感想文100文字程度」

○必ず件名には

「科目番号・科目名・日付」を記入

○締め切りは授業日の24時まで